

「家庭学習の手引き」

1 家庭学習

毎日、家庭で机に向かって学習する時間を確保し学習の習慣を付けることが大切です。
家庭学習を実りあるものにし、子供に習慣付けていくためには、家庭と学校が手を取り合
って実践していくことが大切になります。

2 家庭学習を進めるにあたって

(1) 時間について

下記のような計算で求められる時間が家庭学習の時間の目安です。

【家庭学習の時間の時間の目安】 $30分 + 10分 \times \bigcirc$ 学年

<1年> 40分	<2年> 50分	<3年> 60分
<4年> 70分	<5年> 80分	<6年> 90分

(2) 内容について

<国語>

- ・ 日記 ・ 音読 ・ 漢字（カタカナ） ・ 意味調べ ・ ことわざ調べ

<算数>

- ・ 計算練習 ・ 教科書の練習問題

<理科>

- ・ 自然や太陽、月の観察 ・ 地球の環境調べ

<社会>

- ・ 地図記号や全国の都道府県、県庁所在地調べ ・ 世界の国名調べ
- ・ 歴史上の人物や出来事調べ

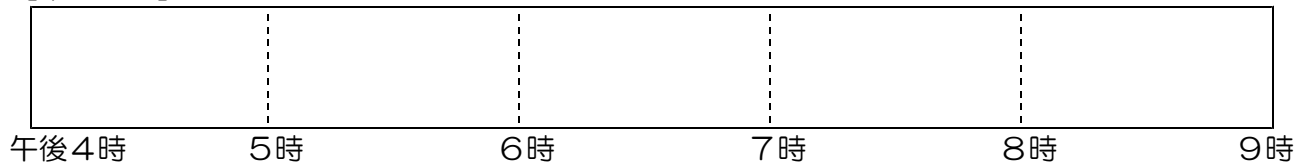
<その他>

- ・ けん盤ハーモニカ、リコーダーの練習 ・ 作詞, 作曲
- ・ なわとびやジョギング, 鉄棒など体力づくり
- ・ 英単語調べ, 英会話 など

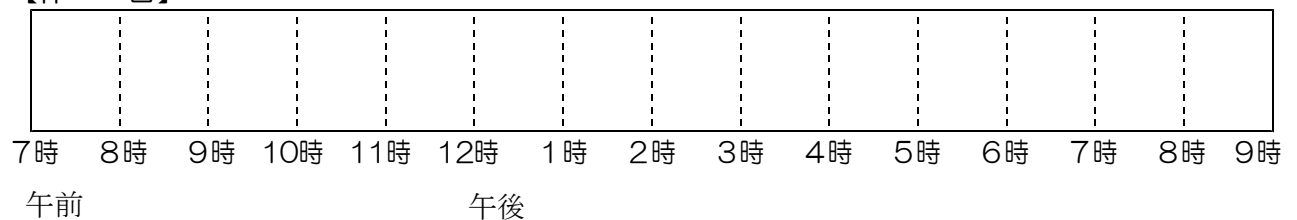
3 家庭学習のスケジュールについて

毎日の生活の中でどの時間に学習をするか、親子で話し合い、計画を立ててみましょう。

【平 日】



【休 日】



☆ 次のことに御協力ください。

1 子供たちの学習状況に関心を持ちましょう。

- どんな学習をしているのか、どんな宿題が出ているのか、ノートやプリント等を見て、声かけや見届けを行いましょう。（特に低学年では、保護者の方の毎日の見届けがとても大切になります。高学年になると、親の見届けに抵抗感をもつ子供も増えますが、時々の見届けによって、子供の成長、課題が見えてきます。）

※学期1回の「家庭学習強化週間」には、チェック表を使って、親子で振り返りましょう。

- 家庭学習の内容やその大切さについて子供と話し合しましょう。
- やったことを認め（ほめ）、分からないときや困っているときは、一緒に考えたり、担任に相談したりしましょう。

2 「時間」を確保しましょう。

- 自分の家では、どの時間帯に家庭学習ができるか話し合い、毎日一定時間、決まった場所で学習に取り組めるようにしましょう。
- 「～しすぎ」をなくすように子供と話し合しましょう（テレビ、ゲーム、遊び等）。
- 家庭学習のために家での手伝いを減らすのはよくありません。家庭学習と手伝いを両立させましょう。手伝いも大切な実体験を通した学習のひとつです。

3 「環境」を整えましょう。

- 静かな環境で集中して取り組めるように、テレビを消したり、机の上を片付けさせたりしましょう。
- 辞典（事典）を備え、活用させることも大切です（国語辞典、漢和辞典、その他の事典）。
- 下敷き、筆箱（鉛筆5～6本・赤鉛筆または赤ペン1本・青鉛筆または青ペン1本・消しゴム1個・定規）などの学習用具をそろえさせておきましょう。
 - * マーカー類を多数そろえる必要はありません。
 - * 定規・分度器は目盛りがしっかり見える物にしましょう。
 - * キャラクターもののような見栄えよりも、実用性重視で選びましょう。
- テストや学習に関するプリント等は、しっかりファイルさせ、復習しやすいように整理させましょう。

4 担任（学校）と連絡を取り合しましょう。

- いろいろな点で個人差（興味・関心、理解の度合など）があるのは当たり前です。分からないこと、困ったことがありましたら気軽に相談してください。
- 家でがんばっていることなども担任へお知らせください。いっしょに励まし伸ばしていきましょう。

5 「家庭学習の手引き」を参考にしましょう。

- 家庭学習の手引きは、子供たちが自分で考えて学習するときの手助けをするものです。「家庭学習（児童用）」を参考に、取り組ませてください。

※ 学校と家庭が連携して、子供のよさを伸ばしていきましょう。